

安全でうるおいのある 生活環境づくり

◆総務常任委員会の審査◆

住民の安全

安心を守る

●放送施設整備費

自治会内の伝達システムである放送設備整備に対する助成。アナログ簡易無線が平成34年12月から使用できなくなるため年次的に更新を推進していくものである。

●消防施設整備費

防災活動に必要な消防車、小型動力ポンプ積載車の更新や防火水槽の新設などである。

～審査の中で～

消防施設等の整備にあたっては、不足している施設や箇所について、各自治会等と協議し消防力の充足に努めるようとの



更新が待たれる野崎班の消防車

意見が出された。

●バス対策事業費

交通弱者の利便性、福祉の向上を図るため、ひまわりバスや生活交通路線バスなど、交通手段の確保を図る。

～審査の中で～

問 23年度と比較し減額となったことについては。

答 鹿児島交通の鏡石湯から枕崎高校前までの路線バスの補助金が23年度で終了したことによる。

●平和会館管理費

世界恒久の平和に寄与するために適正な管理運営を行う。

～審査の中で～

観覧客が安全かつ快適に観覧できるように、施設の構造的な問題はないか精査するようとの意見

が出された。

●川辺仏壇振興費

川辺仏壇は地域の主要な産業の一つであり、仏壇産業後継者育成制度の拡充、工芸品創作技術コンクールの開催や販路対策事業に要するものである。

●あかりの道標イベント事業費

市内各地や自治会等が主催するイベントに紙灯笼やろうそくなどを提供するものである。

～審査の中で～

問 灯笼などを提供する基準は。

答 一つのイベントに3千個を限度に提供する。既に、竹灯笼などを製作しているイベントには、ろうそくを提供していく。

●武家屋敷西郷邸管理運営費

西郷邸庭園及び樹木管理、清掃管理委託、並びに隣接する土地の購入に要するものである。



バリアフリー化を目指す平和会館

～審査の中で～

問 購入する土地の面積及び活用方法は。

答 面積は、926㎡で活用については、今後検討していく。

●市制施行5周年事業費

南九州市市制施行5周年記念式典を、平成24年12月1日（土）に川辺文化会館で実施するもので、郷土芸能や市民歌唱、5年間の出来事DVD上映、フォトコンテスト展など。

●集会施設等整備事業費

自治会活動の拠点であ

●移住・定住促進対策事業費

本市は5年間で3千人あまり人口が減少しており、定住促進対策は喫緊の課題であり、住宅取得補助や市内の空屋情報を提供する空屋バンク制度、新規学卒者のための企業見学や企業への働きかけ、出会い応援事業などに要するものである。

る集会施設の改修経費等の助成により、住民の負担軽減やコミュニティ活動を促進するためのものである。

心の豊かさと創造力を育む 教育・文化のまちづくり

◆文教厚生常任委員会の審査◆

福祉の充実

● はりきゅう等施術料助成事業費

市内に住所を有する60歳以上の者に対し1回当たり1,000円を年間25回を限度に助成するものである。

問 助成対象年齢を70歳

以上から60歳以上と拡充した理由は。
答 幅ひろく健康増進を図るため、対象者の年齢を引き下げた。

教育施設の充実

● 学校施設整備事業費
● 小学校施設管理費

8298万7千円



衛生管理が整っている給食センター

● 松山小学校
2億4571万2千円
● 川辺小学校
64万7千円
● 宮脇小学校
1357万2千円

● 中学校施設管理費
3705万4千円

● スクールバス運行費
2644万8千円

● 給食センター管理運営費（一般経費）
学校給食センターの運営及び維持管理を行うための経費である。

問 統合による維持管理経費の節減効果は。

答 施設が大きくなったことに伴い、ガス代が月140万円程度、電気代が月120万円程度となり、統合前22年度と比較すると、光熱水費・燃料費を合わせて約2000万円増加している。

問 ガス代が増加した理由は。
答 給食センター衛生管理基準により調理場内を25度以下に保ち害虫や細菌の繁殖を抑えるため、蒸気ボイラー窯に変更したことが大きな要因である。

衛生環境の充実

● 環境保全公害対策費

住民からの苦情や公害防止に伴う水質、悪臭等の検査を実施する経費である。

問 昨年建設されたどん

ふん工場の悪臭が酷いという声があるが、調査したか。

答 昨年11月に気温の低下により匂いが強くなる夕方に臭気検査を実施した結果、特定悪臭物質22項目中、硫化水素、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸の3項目が県の公害防止条例の基準を超えている。また、人が匂いを強く感じる臭気指数を調査したところ、高い数値が

出たことから、JAに改善の指導を行い改善計画が提出された。

● 清掃総務費（一般経費）

指宿広域市町村圏組合及び南薩地区衛生管理組合への負担金がある。

埋立容量 2.8万m³（再生）+ 3.3万m³（増設）



工期 H23.5～H26.3（1期工事）
H26.4～H29.3（2期工事）

管理型処分場概要

問 昨年と比較すると約

5億円増額しているが、理由は。

答 穎娃地域に設置する管理型最終処分場建設工事と、内鍋清掃センター及び川辺清掃センターの延命措置のための改修に要する経費が主な要因である。

● 浄化槽設置事業費

生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止の

ため、合併処理浄化槽設置に対する補助金である。

問 設置に対する新たな

補助額加算について
答 河川の水質保全には合併処理浄化槽の設置が有効と判断し、合併処理浄化槽への更新を促すため24年度から市単独の上乗せ助成を行う。

安心・安全な食の提供と 未来を支える農業のまちづくり

◆産業建設常任委員会の審査◆

農林水産業の振興

●農業人材育成事業費

本市農業を担う人材の育成・確保を図るため、後継者、新規参入者に対し、農業後継者育成確保奨励金を交付するもので24年度から年額30万円を一括交付するものである。

〔審査の中で〕

問 青年就農給付金の給付要件は。

答 年齢が原則45歳未満で農地及び機械等を所有しており、本人が生産物を出荷し経営収支を通帳等で管理していること。

●茶流通拠点施設整備推進事業費

お茶振興法に沿った本市の茶業振興策を推進するための銘柄統一、茶流通拠点施設整備、品質向上及び消費拡大などの協議に要する経費である。

〔審査の中で〕

委員から、銘柄統一にあたっては、品質の均一化が重要であり、品質向上に向けたお茶の管理と今後は行政が主導して茶農家の理解を得て統一を図るべきとの意見が出された。

社会基盤の整備

●街路整備事業費

知覧本通り線の清流溝改修を計画的に行い、良好な景観形成と適正な維持管理を図る。

〔審査の中で〕

問 清流溝に設置する魚巢の工法は。

答 魚巢は、舗道部に設置し蓋板としてグレーチングを計画している。

委員から観光客の通行が多いことからグレーチング部分が履物等に支障を与えないよう安全な歩行を確保するようとの意見が出された。

●公共用地取得業務事業費

南薩縦貫道（知覧道路）の用地交渉経費及び用地費・補償費である。

〔審査の中で〕

委員から仮称知覧北インターは立体交差となるが、仮称知覧インターの立体交差についても県に強く要望するようとの意見が出された。

●公園管理費

馬事公苑の維持管理、二松台公園のプール埋設及び駐車場整備に要する経費とグラウンドがドクターヘリの離着陸場所に指定されたことから救急車の進入路の舗装工事などに要する経費である。

見が出された。



ドクターヘリの離着陸場所に指定された二松台公園入口

●道路維持費

市道及び県から管理事務移譲された知覧地域の国・県道の維持管理に要する経費で新規に乗用大型草払機の備品購入が計上されている。

〔審査の中で〕

委員から、救急車が今

**お茶の
銘柄統一に
大きな
第一歩**

1日も早い銘柄統一を

